

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ダイハツ工業(株)(池1)開発	階数	地上2F
建設地	大阪府池田市桃園2丁目	構造	S造
用途地域	都市計画区域内・市街化区域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,904時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年5月2日
敷地面積	26,630㎡	作成者	山本 盟
建築面積	15,305㎡	確認日	
延床面積	30,630㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 2.4</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.6</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 1.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.6</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>用途変更や設備システムの変化や増強に支障が出ない、空間の形状、自由さを考慮した。敷地外環境に配慮し、交通負荷や光害対策をしている。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>工場の生産エリアのためのため、評価対象外</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>更新必要間隔が少ない内装仕上げ材や給排水管を採用している。また、空間の形状・自由さに考慮した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>0</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>消費性能のよい照明を採用し一次エネルギーの低減をしている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>大便器、小便器に節水機能を採用し節水に取り組む。有害物質を含まない材料を一部、使用回避している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>多くの交通負荷を抑制する取り組み。外へ漏れる光の対策の取り組み。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0013

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)ダイハツエ(株)(池1)開発試験棟新築工事					
		建設地	大阪府池田市桃園2丁目993番1、1775番11、1214番7					
		用途/区分	工場					
【評価結果】		CASBEE 総合評価				B+		
①	CO2削減				4			
②	みどり・ヒート アイランド対策				2			
③	建物の断熱性				評価対象外			
④	エネルギー削減				5			
⑤	自然エネルギー直接利用				—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.1	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								